臺灣昌新報 ㊐ 社
八月十九日
夕刊定価一部金五錢

英米共同戰線を張り 飽くまで日本壓迫か

滿洲問題に絡んで 倫敦で海軍縮小問題を審議

【バルチモア十七日發聯合】バルチモア・サン紙のワシントン特電によれば、米政府は英外相サイモン氏の發議に基く海軍縮小問題を審議するため九月代表をロンドンに派遣する意向だが、右代表に對しては米政府は滿洲問題に關し英政府が米國の立場を支持する保障を與へぬ限り斷じて艦艇を縮減にすべからずとの訓令を與へ滿洲問題につき倫迄英米の共同戰線を張り壓迫せんとするものと見られる

米日爲替廿四弗臺割れ

二十三弗五十仙に落込む

（ニューヨーク十八日發電通）玆數日來保合ってゐた米日爲替は本日遂に二十四弗關門を割って二十三弗五十仙と歴史的の新安値を示現した

有史以來の恐怖人氣

【紐育十九日發電通】米日爲替先物行の新安値"二十三弗五十仙"を入れ、當地爲替市場は低落人氣となり、賣人ビルの出廻り多く且つ約三千萬弗を手持せる投機筋がクロス關係に大飛ばしを始め、又復賣物し前場比は野米二十三弗二分一輪一十三弗八分五仙と續落して開盤英米、共同にて滿洲國不承認を決議したとの流布され、圓貨の信用失墜甚しく、買物殺到りに際會し引續き二十三弗二分一を唱へるに至り、有史以來の恐怖人氣に襲はれ、二十三弗四分一部二十三弗八分三仙と引けた。商品物は實物へなく、單に投機物一點張りの觀あり、夫々同筋を網羅して買戻しを待し、夫々同筋を網羅して買戻しを待し、夫々同筋を網羅して買戻しを待し

武裝警官の警戒裡に 移住宣誓式行はる

次いで各蕃社交驩式 莊嚴て和やかな歴史的光景

【霧社特電十九日發】霧社事件犠牲の總慰靈祭として重大視されてゐた事件當時の反抗蕃の土地を賦與による移住宣誓式は十九日午前十時三十分から臺中州能高郡蕃地霧社分室前廣場標識に於てトロック、タウツア兩蕃移住宣誓式並びに霧社一帶各蕃交驩式が夫々擧行された

【霧社特電十九日發】霧社事件犠牲の總慰靈祭として重大視されてゐた事件當時の反抗蕃の土地を賦與による移住宣誓式は十九日午前十時三十分から臺中州能高郡蕃地霧社分室前廣場標識に於てトロック、タウツア兩蕃移住宣誓式並びに霧社一帶各蕃交驩式が夫々擧行された

トロック、タウツア兩蕃に分配授與せしめ、且つ從來土地問題を繞つて絶えず紛爭の種子となつてゐた兩蕃の關係に一平和への道程に入る所の「エポツク」を劃すべき秋は來た、十九日午前十時三十分から臺中州能高郡蕃地霧社分室前廣場標識に於て擧行されたトロック、タウツア兩蕃移住宣誓式並びに霧社一帶各蕃交驩式がそれである

霧社から佐倉下駐在所に至る間の警備は臺中州能高郡霧社警察官駐在所、能高郡霧社警察官駐在所、能高郡霧社警察官駐在所、

殘月譜 (259)

志乃田廸司作

清水三重三畫

刀 （二）

「おい、先づ習ふ」

と醫師が云つた。

「よし」

「武士、拳銃、出して呉れ！」

「醫師さん、お願に行きはぬことを云ふぢやのう」

武士が石膏細工の脚へ、どかりと尻を据ゑて云つた。

「お拳銃は、一人一人あげないと功徳がないつて云ふぞ」

「ははは……そりや神主のおしかひさ」

醫師は笑つて。

「武士、拳銃のかかるのは好きぢやろまい、ぢが開けはいいのさ」

「ちや、然かーせやう」

「武士、拳銃、今日三時づつになつたんだぜ、はづめよ」

「ちつと誤解、昨日より三倍あげらも」

「拳銃へ、ちやりん、ちやりんと計算く銭が飛び込んだ。

「一般しやや」

醫師が鋏を掛けて云つた。

「でも大抵、そろ〳〵日も暮れて来るぜ、近頃は大分物騒だと云ふから、早目に帰らや」

「うん、でも、大分、草臥れて帰るやうぢやないか」

「そりやさうや、一寸、今日の行程置いからなあ」

「ぢや、ゆつくり休んで行かう」

「でも、物騒ぢやで」

「武士が心配顔の訊れた。

「ぢやから、休んで行くのぢや、そんなに驚れて、いえいで不意に出られでもしたらどうするぢや」

「そ、そんな臭病でもないこと、云つておくれるな」

武士が顔を顰めた。

「ゆつくり休んで、落ちついて帰りや、さあとなつたつて、うまく書けられるぜ、それに、今日は、こいつがあるよ」

醫師が、懐中から、紙銭をのぞかせた。

「安心しな、ははは」

「所でー」

金作が。

「すつきの土産つて何やい。猫の頭の黒焼か、それとも、蝙蝠の黒焼か」

「おい、先づ習ふ」

と醫師が云つた。

「よし」

「武士、拳銃、出して呉れ！」

「醫師さん、お願に行きはぬことを云ふぢやのう」

武士が石膏細工の脚へ、どかりと尻を据ゑて云つた。

「お拳銃は、一人一人あげないと功徳がないつて云ふぞ」

「ははは……そりや神主のおしかひさ」

醫師は笑つて。

「武士、拳銃のかかるのは好きぢやろまい、ぢが開けはいいのさ」

「ちや、然かーせやう」

「武士、拳銃、今日三時づつになつたんだぜ、はづめよ」

「ちつと誤解、昨日より三倍あげらも」

「拳銃へ、ちやりん、ちやりんと計算く銭が飛び込んだ。

「一般しやや」

醫師が鋏を掛けて云つた。

「でも大抵、そろ〳〵日も暮れて来るぜ、近頃は大分物騒だと云ふから、早目に帰らや」

「うん、でも、大分、草臥れて帰るやうぢやないか」

「そりやさうや、一寸、今日の行程置いからなあ」

「ぢや、ゆつくり休んで行かう」

「でも、物騒ぢやで」

「武士が心配顔の訊れた。

「ぢやから、休んで行くのぢや、そんなに驚れて、いえいで不意に出られでもしたらどうするぢや」

「そ、そんな臭病でもないこと、云つておくれるな」

武士が顔を顰めた。

「ゆつくり休んで、落ちついて帰りや、さあとなつたつて、うまく書けられるぜ、それに、今日は、こいつがあるよ」

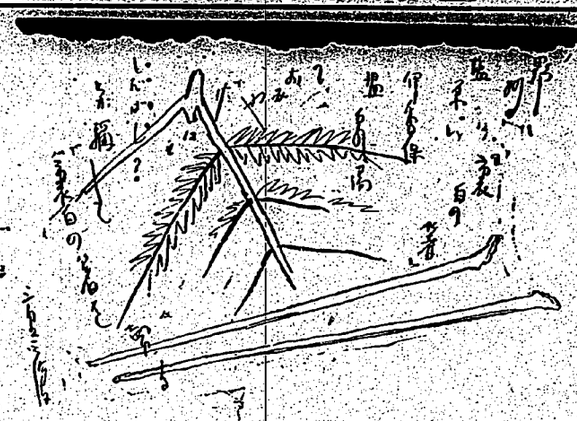
醫師が、懐中から、紙銭をのぞかせた。

「安心しな、ははは」

「所でー」

金作が。

「すつきの土産つて何やい。猫の頭の黒焼か、それとも、蝙蝠の黒焼か」



一九三二年型の臺灣紳士を歡迎する

香港でのエログロ娘子軍

尼僧もまじつて暗中飛躍

香港通信員　大航生

九三二年型の紳士が、キットの雛を殺せて香港へ乗り込んで来たとしたなら、御切であるところの案内者は先づ後を日本人の一流料理店に案内するだらう（支那料理なんて論ぢこいものは御めんださうな）さうして、あの香港の一流料理店で驚者を呼ぶだらう

「さあ碧は、あり……」

若紳士と少しも驚らない、入船由船に必ず安めず寄せてゆく那般なる驚者語、會話の部部の部屋から、驚目を定めて早朝こうそり抜け陽つて来る驚者語補、これらの驚者の案内者は、金儲ひのよい支那の御客さんにもつれ併かつて、平生正體に行ひつつあ我金××弗、月まめ××弗、船内出張××弗、部屋内サービス××弗の

内定規約　を以て殺し、山来るだけ××飛つてから、驚語のスキッチを捻るに相違ないので

猫撫で聲　は内地の驚

一弗犬券　を何枚か買はされるだらう

「貴に面白かつた」

と云ふ人の感想が驚語の東を聞いた案内者は再び香港に（約三時間）即ち自動車の島一周をするなりビール即りをするなりて「あとは御自由物をどうぞ」

といふ段になる、そこで案内者からの紳士は

「いや、どうも色々有難う」

といふわけで、支那料理で**惜別の宴**　でも張るに過ぎない、これは決りきつた香港通信員　大航生

臺灣樟腦を材料とする香料會社訪問記

―香料の史的考察と共に―

モダンライフに就て―

藤すみ子

本社東京支局通信員

香料の歴史　それは相當古いものらしい、支那典籍には神農伏羲の時代に香料のあつたことを示してゐる、我國の史籍を見るに香道傳來に依ると天武天皇朱鳥元年九月、沈水香木たる淡路島に漂着す、島人香木たる事を知らず拾ひ得て朝に獻じ、朝廷遠く献じければ島人驚き、是を帝に献じ帝に示しより始まり、其後聖武皇帝の

御宇に西蕃　より貢獻香を奏る、帝是を東大寺に納たまひ、代々の寶となす即ち世に云ふ正倉院香木是也とある、

香木や沈香、或はヴアイオレット、ローズ等所謂天然香料は除り高價で一般庶民には縁遠いものとされてゐるが、其實さうでもなく、現今では人造香料が盛んに製造されて居り、其價格も天然香料の數十分の一乃至數百分の一位で、其香氣も天然香料に劣らぬ程のものが出來るので、近來は一般家庭でも盛んに使用されるやうになつた、

臺灣の樟腦　は本社の專業として居る、樟腦は防腐劑としても、又セルロイド製造の原料としても、又無煙火藥の原料としても、其他醫藥用として、其用途は實に廣汎である、

人造香料界　の名聲東京市外荏原田町の高砂香料會社に何を通して案内を乞うた、資本金一百萬圓、社長は武田長兵衛氏、取締役に小貫金一氏、技師長に中弓半弓氏、技師に麻雀一郎氏、營業部長に和田文藝堂氏、工場長に岸喜鑑氏、其他重役技師等總て十數名、從業員百數十名、工場は東京の外横濱、名古屋、大阪、神戸、門司、臺北、高雄、臺中、臺南、新竹、花蓮港、樺太豊原、朝鮮京城、仁川、釜山、平壌、元山、大邱、羅津、滿洲奉天、新京、ハルピン、大連、青島、上海、漢口、天津、北京、濟南、青島、香港、シンガポール、ボンベイ、カラチ、ロンドン、パリー、ニューヨーク、シカゴ、サンフランシスコ、ホノルル、シドニー、メルボルン、ケープタウン、ブエノスアイレス、ハバナ、メキシコ等に出張所を有し、世界的大會社である、

香料の種類　香料は之を大別して天然香料と人造香料とに分つ、天然香料は動植物より採取するもので、動物性香料としては麝香、龍涎香、靈猫香、海狸香、鯨香、麝香猫香、鼠香等があり、植物性香料としては、沈香、白檀、丁子、桂皮、樟腦、ローズ、ゼラニウム、ジャスミン、ネロリ、ベチバー、ラベンダー、ベルガモット、ヒヤシンス、スイートピー、ヘリオトロープ、ミモザ、ライラック、ワスレナグサ、ヘンルーダ、ヘンルーダ、ヘンルーダ

漢文臺灣日日新報

鐵相說明却使黨內空氣惡化
益疑政府欲糊塗一時
一入議會難保不痛擊

十九日東京電。政友會。對議會應援。尚不知所歸趨。或時強硬論。或持自重說。各幹合同志。務以爲黨之大勢。鈴木喜三郎。首領幹部。欲靜引等。乃急進派勢力。漸擴大於黨內。殊如十八日。幹部會。三十餘相。說明政府後策案。反合諸黨人。疑政府欲糊塗一時。而川崎久保等。陽故示且自強。黨內空氣。大爲惡化。迄今猶度隱健之人。經有多少不滿。亦以爲不得已者。亦憤慨政府之無誠意。此其成行。於黨大勢。有大影響。其大議會。對於政府。或加痛擊云。

時局匡救豫算財源
公債法種目金額決

十九日東京電。時局匡救豫算。一億六千三百三十七萬圓之財源。照何公債法而得。大藏省當議。昨果決定如左。（單位千圓）

赤字公債法	六二、〇〇〇
道路公債法	八一〇
普通財源	六一〇
內譯	
簡易保險特別會計繰入	一八〇
道路事業地方費補金	三三〇
治水事業分擔金	六〇
金額債務調停手數料收入	三五

合於臨時議會。提出赤字公債法現行限度一億六千六百四十萬圓。擴爲三億二千二百萬餘改正案。又繼道。朝鮮臺灣。樺太等各特別會計財源。決定照事業公債法云。

美日滙水續落
一二十三弗五十仙

十八日紐育電。茲據日來。供合之美日滙水。本日終破二十四弗。爲二十三弗五十仙。現出歷史的新康值云。

全權隨員
再正式任命

十九日東京電。滿洲派遣特命全權大使隨員（各通）

爲水道敷設
村民氓鬪
長野縣下騷然

十九日長野電。長野縣東筑摩郡波多村。十八日朝水道敷設反對民政黨員三百名。與村當局派水道工事土工數十名衝突。當局双方多數負傷。村長百瀨減

滿洲視察談補錄
（其三）　臺南黃欣氏

張學良外遊作罷
一時移諸萬壽山
華北軍權無變

十八日北平電。張學良。十七日來。每三星期外出動。赴秦皇島。或錦州。亦力謀動留任。勢且爲中外所注目。又爲山頭導水路。再三日中。亦得復舊云。

新莊教育會
遊戲講習開會

新莊郡教育會。所主催之夏期講習會。既在新莊公學校開會。中之國費講習會。前遊歷滿洲派遣特命全權大使隨員（各通）

臺銀降利
或僅一厘

十八日東京支局特電。日銀第三次降利。乃一般所料想。各界皆以爲當然。市中銀行。將決行降利。當銀勢。必追隨。現與督方面議降利。惟發券制度尚未改正。故降下程度或僅一厘也。又今回降利。東京朝日等論調。謂低金利政策主意。在乎刺戟事業。

政局動搖
或在議會後
平塚長官談

平塚長官。爲政府委員。欲出席於第三臨時議會。十八日開會。檢查委員。時局頗當面開會。重大議。或當在議會終了後。臺灣救濟案。想議會別無問題。來殺統制問題。預田殖產局長。與政府當局折衝中。

嘉陀大圳
補修給水路

嘉南大圳給水幹支線。因舉水土生出故障。由同番著手修繕。業已竣成。去十六日。臺南州下各地。降雨量。最多者。爲新營庄。百二十粍。最少者。爲鹽水港。二十粍。

督府生計調查
初回僅臺北州轄
自十一月起滿一年間

北署管內。本年。腸窒扶斯患者數。雖減于去年。成績不良。

腸疾發生地
大舉清潔

臺南青年訓練所。定二十晚六時。二十分。教官所員。賽集後。整隊赴永寧庄游泳。

青年訓練所
夜間行軍

十六日。在嘉義郡新巷庄。總數二千人。分三隊。以下姓名如左。（單位千圓）

道路公債法	六二、〇〇〇
普通財源	八一〇
內譯	六一〇
簡易保險特別會計繰入	一八〇
道路事業地方費補金	三三〇
治水事業分擔金	六〇
金額債務調停手數料收入	三五

合於臨時議會。提出赤字公債法現行限度一億六千六百四十萬圓。擴爲三億二千二百萬餘改正案。又繼道。朝鮮臺灣。樺太等各特別會計財源。決定照事業公債法云。

美日滙水續落
一二十三弗五十仙

十八日紐育電。茲據日來。供合之美日滙水。本日終破二十四弗。爲二十三弗五十仙。現出歷史的新康值云。

全權隨員
再正式任命

十九日東京電。滿洲派遣特命全權大使隨員（各通）

爲水道敷設
村民氓鬪
長野縣下騷然

十九日長野電。長野縣東筑摩郡波多村。十八日朝水道敷設反對民政黨員三百名。與村當局派水道工事土工數十名衝突。當局双方多數負傷。村長百瀨減

滿洲視察談補錄
（其三）　臺南黃欣氏

張學良外遊作罷
一時移諸萬壽山
華北軍權無變

十八日北平電。張學良。十七日來。每三星期外出動。赴秦皇島。或錦州。亦力謀動留任。勢且爲中外所注目。又爲山頭導水路。再三日中。亦得復舊云。

新莊教育會
遊戲講習開會

新莊郡教育會。所主催之夏期講習會。既在新莊公學校開會。中之國費講習會。前遊歷滿洲派遣特命全權大使隨員（各通）

臺銀降利
或僅一厘

十八日東京支局特電。日銀第三次降利。乃一般所料想。各界皆以爲當然。市中銀行。將決行降利。當銀勢。必追隨。現與督方面議降利。惟發券制度尚未改正。故降下程度或僅一厘也。又今回降利。東京朝日等論調。謂低金利政策主意。在乎刺戟事業。

政局動搖
或在議會後
平塚長官談

平塚長官。爲政府委員。欲出席於第三臨時議會。十八日開會。檢查委員。時局頗當面開會。重大議。或當在議會終了後。臺灣救濟案。想議會別無問題。來殺統制問題。預田殖產局長。與政府當局折衝中。

嘉陀大圳
補修給水路

嘉南大圳給水幹支線。因舉水土生出故障。由同番著手修繕。業已竣成。去十六日。

中外要電
御賜窮民救濟費款

東京消息。聖上陛下。二十日。且賜窮民救濟費三百萬圓。二年間俾有效使用。又賜研究振興會。十萬圓爲繼續費云

爭論時局匡救對案
去十八日午後二時。政友幹部會。鈴木總裁。久原總裁。床次總裁。鳩山。岡崎。島田。山崎。其他諸氏出席。大體如左。

十九日東京電。政友會。對議會應援。尚不知所歸趨。或時強硬論。或持自重說。各幹合同志。務以爲黨之大勢。鈴木喜三郎。首領幹部。欲靜引等。乃急進派勢力。漸擴大於黨內。殊如十八日。幹部會。三十餘相。說明政府後策案。反合諸黨人。疑政府欲糊塗一時。而川崎久保等。陽故示且自強。黨內空氣。大爲惡化。迄今猶度隱健之人。經有多少不滿。亦以爲不得已者。亦憤慨政府之無誠意。此其成行。於黨大勢。有大影響。其大議會。對於政府。或加痛擊云。

時局匡救豫算財源
公債法種目金額決

十九日東京電。時局匡救豫算。一億六千三百三十七萬圓之財源。照何公債法而得。大藏省當議。昨果決定如左。（單位千圓）

赤字公債法	六二、〇〇〇
道路公債法	八一〇
普通財源	六一〇
內譯	
簡易保險特別會計繰入	一八〇
道路事業地方費補金	三三〇
治水事業分擔金	六〇
金額債務調停手數料收入	三五

合於臨時議會。提出赤字公債法現行限度一億六千六百四十

臺灣日日新報

今宣傳中の ノーネクタイシャツ

◇白絹ポプリン　一圓十錢
◇白金巾　八十五錢

郵券14下 15銭 15下

臺北 臺灣日日新報社 運動用品部

高粱不進に リコの

烈しく飲めて、飲めばスグに熱氣となるばかりでなく、食欲が促進されます。

全國藥店、食料品店にあります。

名刺

大阪商船

基隆汽船

近海郵船

臺灣日日新報

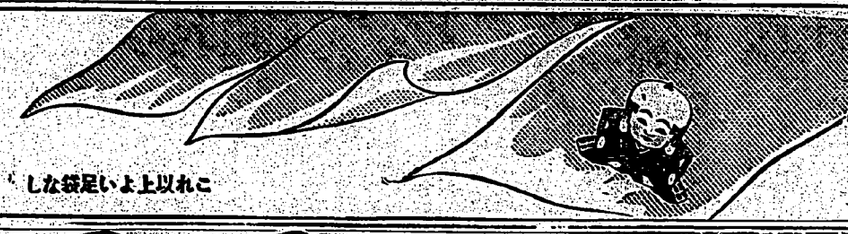
久遠の若さを保つ 玉の肌 ウーピー

ウーピーの素肌に化粧は光る

クルミ印白濃乳（煉）

白鹿ミルク登元賣 元賣 辰馬商會

裏紗いれんか絹 いし涼 夏一足で足一ぃっ 袋足夏助福



しな袋足いよ上以れこ

ゼトロブ

補血強壯增進劑

夏やせの療法
アツサリしたブドウ糖と食物と少量のゼトロブで驚くべき効果

單味	（一カ月分）
アルゼンヨード	（一カ月分）
コグール	（一カ月分）

活動の源泉（小包入）

●製造販賣元

大阪道修町 藤澤友吉商店 株式會社

うせまし致に夫丈を膚皮

ルーロオツン

アセモタダレに

豫防に治療に キメ一隨一！

Br-53

クルミナコ郎太金

母乳代用 純良粉乳

元賣設計賣 商馬辰 株式會社

純良粉乳

溶かし方

純良粉乳一匙ニ湯冷又ハ白湯ヲ入レテ溶カシ適量ノ砂糖ヲ加ヘテ甘味ヲ附ケ必要ノ場合ニハ水ヲ加ヘテ稀釋シ使用スルコトガ出來マス

純國產品

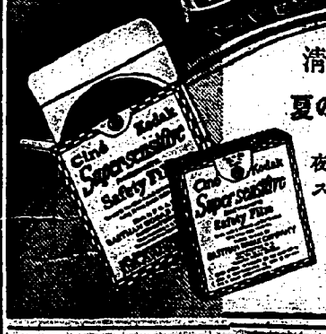
五大特長

一、純粹ナル牛乳ヲ原料トシ
二、ビタミンA、B、Dヲ豐富ニ含有シ
三、脂肪ガ良質ニシテ消化ガ良ク
四、粉末ガ細カク溶解ガ速カデ
五、水ニ溶ケ易ク沈澱ガ少イ

關稅改正と 金太郎コナミルクの使命

乳製品の輸入税が引上げられましたが之は申すまでもなく時局に鑑みて國產品の保護奬勵と存じます 畜産の振興 畜産組合精神と相俟つて 金太郎コナミルクは純國產であります 而かも格段の天童地北海道の牛乳から 精製された優良品であります 其の上技術に於ても 確かに優秀品であります 加之 超低廉價を以て提供して 國產奬勵の誇りを得ませんか 金太郎コナミルクは 最新式の噴霧式で 牛乳から 眞水分が除かれた丈けで 全然生牛乳のまゝの營養素が保持されてあります 故に溶け易いばかりでなく 冷水に溶けますから 育兒用 調理用は勿論 登山其他野外用としても 非常に手輕に 且つ衛生的で 最も安心して 御使用されてあります

超感光性フヰルム



清々しい氣分の溢る〻

夏の家庭を16ミリ映畫に

夜間室內撮影になくてはならぬ スーパー パンクロ フヰルム

各地寫眞材料商、寫眞店にて販賣

イーストマン日本總代理店・東京

コダック ジャパン リミテッド

CP-6

世界的強力消化素 ヂカヂアスターゼ

東京・京町 三共株式會社 大阪・東北・釜山

三共の製品

中等學校 東京自動車學校

此日ノ而役言
中段浙處病場蔵
堀人謹去本氣碧實
執二告致月療續業
道右候候十業氏所
一四七中

代	議	人	妄	將	兒	月	間	七院而食新
	林	末川	中小郡	楊	楊	楊		此日療養楊作
		田尾松						段死養北碧州
孫	榮	莊		水碧光				謹去中醫徽松
		武兵吉茂						告致去院儀業
嘉	喜衛	久德廷	榮盛					候候十大食會

滿洲國と條約を締結

承認の意思を聞明するに決す

十九日の閣議で外相私案を審議

決定の上武藤全權に手交

（東京十九日發電通）政府は九月中旬に滿洲國の正式承認を敢行することに決定し、その形式を攻究中であるが、內田外相の主張に依り日滿國交樹立に關する條約を締結し、之を聯盟に登錄する事に依つて滿洲國承認の意思を聞明するに決し、十九日の閣議で內田外相より右條約私案を提示し審議する所あつた。政府は之を正式決定した上二十日赴任する武藤全權に手交する筈である。外相の基礎案左の如し

一、滿洲國は同國領域に於て日本政府の有する條約及び事實上の一切の權益を尊重す

一、滿洲國の治安に對する內外の脅威に對しては之を日滿兩國共同の問題と認め兩國共同して滿洲の治安維持を圖る

一、日本國滿洲國は共同の平和を維持するため第三國の侵略を受くることある時は防守同盟を以つて之に當る

武藤全權一行はけふ出發

【東京十九日發電通】滿洲國に於ける內國外相の外交方針說明に二十日の臨時議會に於て決定さるゝが、內田外相はこの中に於て極東の平和を確立する唯一の道は日滿支がその國家的實力を充實し相互に扶助し合ふ外なしとの旨を率直に宣言することとなりその反響が擧々注目さるに至つた。內田外相の右宣言は亞細亞の事件は亞細亞の手に依り處理さるべきを强調せる東洋モンロー主義の高唱で極東平和の處理者たらんとして焦りつつある聯盟及び調査團に對しその無能力を指摘し一矢を酬ゆるものでその內容は一時間を點する長文のもので主として滿洲問題及び調査團の無能力を論じ、滿洲國の獨立を支持し、滿洲國と日本との關係を說明し、滿洲國と日本との關係は滿洲國の獨立、滿洲國の日本に對する信賴、滿洲國の日本に對する希望の三點に基くものであるとなし、滿洲國の獨立は滿洲國民の自發的意思

匪救追加豫算の反響

願望叶って
下淡水溪治水工事

追加豫算卅三萬圓承認さる

下淡水溪治水工事施設については既報の如く十八日午前十時から臺灣總督官房會議室に於て第十回の委員會を開き、石井代議士、濱野總督府土木課長、白水總督府技師、其他の關係官民が出席して各自意見を述べ、最後に石井代議士が總督に對し左の如き意見を具申した

下淡水溪治水工事施設については既に數回に亘り關係地方民の代表本山榮吉、白石喜代治

ラヂオ・ホール

今日の番組

J.F.A.K 七月二十日(土)

午前の部

【六・〇〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ、(臺北のみ)臺北圖書館發表

【七・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【七・二〇】英作文講座 第八講 吉見猛

【七・三〇】夏休み小學生復習時間 小學校教本 南門小學校 (臺北のみ)

【七・四〇】四年生の時間 南門小學校 嘉村安衛

【八・〇〇】五年生の時間 臺成小學校 奥村安衛

【八・二〇】家庭料理獻立 【午前十時十分】臺北 吉見猛

【八・三〇】童謡 (レコード演奏) 作曲五〇 (チャイコフスキー作曲)

【八・四〇】(臺北のみ)三重縣鈴鹿山麓の猿の話 (レコード演奏) イ調、作曲五〇 (チャイコフスキー作曲)

【八・五〇】ヴァイオリン獨奏 ニ調 ヴィニアーサーカプラル チニロ W・H・スクワイヤ ウイリアム・マード ピアノ伴奏 (ある獨逸人の觀察の眼出の眞に)

この曲はチャイコフスキーの數一のピアノ三重奏曲で、數ある彼の傑作の中でも特に有名な作品の一つである。此の曲には「ある獨逸人の觀察の眼出の眞に」と題のはしに記されてゐる、この曲はチャイコフスキーの數一のピアノ三重奏曲で、數ある彼の傑作の中でも特に有名な作品の一つである。此の曲には「ある獨逸人の觀察の眼出の眞に」と題のはしに記されてゐる、この曲はチャイコフスキーの數一のピアノ三重奏曲で、數ある彼の傑作の中でも特に有名な作品の一つである。此の曲には「ある獨逸人の觀察の眼出の眞に」と題のはしに記されてゐる、

【九・〇〇】午前の部終了

午後の部

【〇・〇〇】放送局時報 ニュース 臺北市內一般 (官報) (大阪) 大朝東朝 主催第十八回全國中等學校優勝野球大會、大阪甲子園より中繼 【〇・一〇】發明談話 (レコード演奏) 作曲五〇 (ベートーベン作曲) 【〇・二〇】日用品小實驗 臺北市西門町 實驗者 【一・〇〇】正午の時報、氣象通報 (臺北のみ) 臺北圖書館發表

【一・〇五】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【一・三五】臺北市內一般 (官報) ニュース 主催第十八回全國中等學校優勝野球大會、大阪甲子園より中繼 【二・〇〇】發明談話 (レコード演奏) 作曲五〇 (ベートーベン作曲) 【二・一〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【二・二〇】家庭料理獻立 【午後二時二十分】臺北 吉見猛

【二・三〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【二・四〇】家庭料理獻立 【午後二時四十分】臺北 吉見猛

【二・五〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【三・〇〇】午後の部終了

夜間の部

【七・〇〇】臺灣語講座 尺八のお話 (その二) 佐藤晴美

【七・三〇】童謡 (レコード演奏) 作曲五〇 (チャイコフスキー作曲) イ調、作曲五〇 (チャイコフスキー作曲) ピアノ獨奏 (ある獨逸人の觀察の眼出の眞に) ヴァイオリン、フーサー・カプラル チニロ、オブリュー・エイチ・スクワイヤ ピアノ ウイリアム・マードック (ある獨逸人の觀察の眼出の眞に)

【八・〇〇】臺灣語講座 尺八のお話 佐藤晴美

【八・三〇】童謡 (レコード演奏) 作曲五〇 (チャイコフスキー作曲) イ調、作曲五〇 (チャイコフスキー作曲) ヴァイオリン、ユーディ・メニューイン 管絃樂 ロンドン交響樂團、指揮 ランドン・ロナルド

【八・四〇】童謡 (レコード演奏) 作曲五〇 (チャイコフスキー作曲) イ調、作曲五〇 (チャイコフスキー作曲) ヴァイオリン、ユーディ・メニューイン 管絃樂 ロンドン交響樂團、指揮 ランドン・ロナルド

【八・五〇】童謡 (レコード演奏) 作曲五〇 (チャイコフスキー作曲) イ調、作曲五〇 (チャイコフスキー作曲) ヴァイオリン、ユーディ・メニューイン 管絃樂 ロンドン交響樂團、指揮 ランドン・ロナルド

【九・〇〇】講談 (神戸ブドー酒提供) 第十八回 赤穂義士銘々傳 (その一) 大石内藏之助 神田伯龍

【九・三〇】報時、氣象通報 (臺北のみ) 臺北圖書館發表、交通ニュース (臺北のみ) 臺北圖書館報ニュース (臺北のみ) 公衆衛生講話 (臺北のみ) 明日のプログラム發表

【九・四〇】家庭料理獻立 【午後二時四十分】臺北 吉見猛

【九・五〇】家庭料理獻立 【午後二時五十分】臺北 吉見猛

【十・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【十・一〇】家庭料理獻立 【午後三時十分】臺北 吉見猛

【十・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【十・三〇】家庭料理獻立 【午後三時三十分】臺北 吉見猛

【十・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【十・五〇】家庭料理獻立 【午後三時五十分】臺北 吉見猛

【十一・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【十一・一〇】家庭料理獻立 【午後四時十分】臺北 吉見猛

【十一・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【十一・三〇】家庭料理獻立 【午後四時三十分】臺北 吉見猛

【十一・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【十一・五〇】家庭料理獻立 【午後四時五十分】臺北 吉見猛

【十二・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【十二・一〇】家庭料理獻立 【午後五時十分】臺北 吉見猛

【十二・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【十二・三〇】家庭料理獻立 【午後五時三十分】臺北 吉見猛

【十二・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【十二・五〇】家庭料理獻立 【午後五時五十分】臺北 吉見猛

【一・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【一・一〇】家庭料理獻立 【午後六時十分】臺北 吉見猛

【一・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【一・三〇】家庭料理獻立 【午後六時三十分】臺北 吉見猛

【一・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【一・五〇】家庭料理獻立 【午後六時五十分】臺北 吉見猛

【二・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【二・一〇】家庭料理獻立 【午後七時十分】臺北 吉見猛

【二・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【二・三〇】家庭料理獻立 【午後七時三十分】臺北 吉見猛

【二・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【二・五〇】家庭料理獻立 【午後七時五十分】臺北 吉見猛

【三・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【三・一〇】家庭料理獻立 【午後八時十分】臺北 吉見猛

【三・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【三・三〇】家庭料理獻立 【午後八時三十分】臺北 吉見猛

【三・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【三・五〇】家庭料理獻立 【午後八時五十分】臺北 吉見猛

【四・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【四・一〇】家庭料理獻立 【午後九時十分】臺北 吉見猛

【四・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【四・三〇】家庭料理獻立 【午後九時三十分】臺北 吉見猛

【四・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【四・五〇】家庭料理獻立 【午後九時五十分】臺北 吉見猛

【五・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【五・一〇】家庭料理獻立 【午後十時十分】臺北 吉見猛

【五・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【五・三〇】家庭料理獻立 【午後十時三十分】臺北 吉見猛

【五・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【五・五〇】家庭料理獻立 【午後十時五十分】臺北 吉見猛

【六・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【六・一〇】家庭料理獻立 【午後十一時十分】臺北 吉見猛

【六・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【六・三〇】家庭料理獻立 【午後十一時三十分】臺北 吉見猛

【六・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【六・五〇】家庭料理獻立 【午後十一時五十分】臺北 吉見猛

【七・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【七・一〇】家庭料理獻立 【午後十二時十分】臺北 吉見猛

【七・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【七・三〇】家庭料理獻立 【午後十二時三十分】臺北 吉見猛

【七・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【七・五〇】家庭料理獻立 【午後十二時五十分】臺北 吉見猛

【八・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【八・一〇】家庭料理獻立 【午後一時十分】臺北 吉見猛

【八・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【八・三〇】家庭料理獻立 【午後一時三十分】臺北 吉見猛

【八・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【八・五〇】家庭料理獻立 【午後一時五十分】臺北 吉見猛

【九・〇〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【九・一〇】家庭料理獻立 【午後二時十分】臺北 吉見猛

【九・二〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講 吉見猛

【九・三〇】家庭料理獻立 【午後二時三十分】臺北 吉見猛

【九・四〇】夏季特別講座 英作文講座 第八講

相場遂に——廿二弗臺出現

對米爲替

市場は收拾すべからざる狀態

【東京十九日發電通】東京の爲替市場は十九日に至り更に上海米日クロス十八日引二十三弗七十仙ニューヨーク米日二十三弗五十仙と未曾有の新安値を出したため朝來全く昨述に陷り相場立たず賣手はノミナル相場對米二十三弗四分ノ一乃至二分ノ一を稱へたが賣手は餘りの暴落に全く茫然自失に寄付けず對英一志四片四分ノ二賣唱へに買唱へなく文字通り混亂收拾すべからざる狀態となつたが十一時は對米二十三弗二分ノ一賣二十二弗八分ノ七買、對英一志四片四分ノ一賣一志四片二分ノ一買を唱へた暴落の原因は我が社會不安に依る四の信用失墜と昨日來上海筋に於て四賣りが出たこととニューヨーク市場激落のためである

上海圓爲替氣配益々惡化

【上海十九日發電通】當地の國際爲替はクロス安、銀戸換相場英米間の一層の惡化を受け入荷の增加不振の噂、大口賣氣配を反映し入れ大口賣氣配の益々惡化の傾向ある

大連銀票百圓突破

【大連十九日發電通】昨年末支輸出禁止以來上騰の一途を辿つてゐた當地日八弗上海爲替及び神戸爲替の現物百二四先物百一四二十錢と昨狀の安値より六十錢ばかり狂騰を演じた

上海市場では米日十七、八弗を豫想す

【上海十九日發電通】午後の上海國際爲替は弱い氣配となり十七弗四分ノ三辺に迫り當場一部には早くも米日十七、八弗を豫想されてゐる

島内銀行の利下は臺灣の事情を考慮

臺銀利下げ決定後に

商法並に民法中の法定利率を改正

農村並に中小商工業の負債輕減策として要望

【大阪十九日發電通】日銀關西支店は十九日午前十時より同支店會議室に於て管内各府縣の財界有力者を招待し、現下の經濟界に關する懇談會を開いた、出席者は次の通りである

日銀關西支店側　理事　深井英五　營業課長　三宅川百太郎　調査課長　小野崎誠之助

大阪側　大阪府知事　林市藏　大阪市助役　關一　大阪商工會議所會頭　岩下清周　大阪銀行集會所理事長　土井重義　大阪株式取引所理事長　岡崎邦輔　大阪手形交換所委員長　藤本ビルブローカー銀行社長　藤本清兵衛　大阪商業會議所副會頭　藤田謙一　大阪商業會議所副會頭　松本重太郎　大阪商業會議所副會頭　土居通夫　大阪商業會議所副會頭　山口玄洞　大阪商業會議所副會頭　山本唯三郎　大阪商業會議所副會頭　山本達雄　大阪商業會議所副會頭　山本條太郎　大阪商業會議所副會頭　山本條太郎　大阪商業會議所副會頭　山本條太郎　大阪商業會議所副會頭　山本條太郎

京都側　京都府知事　木村正辭　京都市助役　山田信道　京都商業會議所會頭　稻畑勝太郎　京都商業會議所副會頭　稻畑勝太郎　京都商業會議所副會頭　稻畑勝太郎　京都商業會議所副會頭　稻畑勝太郎　京都商業會議所副會頭　稻畑勝太郎

神戸側　神戸市助役　原口忠次郎　神戸商業會議所會頭　原口忠次郎　神戸商業會議所副會頭　原口忠次郎　神戸商業會議所副會頭　原口忠次郎　神戸商業會議所副會頭　原口忠次郎　神戸商業會議所副會頭　原口忠次郎

和歌山側　和歌山縣知事　和歌山縣商業會議所會頭　和歌山縣商業會議所副會頭　和歌山縣商業會議所副會頭　和歌山縣商業會議所副會頭

奈良側　奈良縣知事　奈良縣商業會議所會頭　奈良縣商業會議所副會頭　奈良縣商業會議所副會頭　奈良縣商業會議所副會頭

滋賀側　滋賀縣知事　滋賀縣商業會議所會頭　滋賀縣商業會議所副會頭　滋賀縣商業會議所副會頭　滋賀縣商業會議所副會頭

三重側　三重縣知事　三重縣商業會議所會頭　三重縣商業會議所副會頭　三重縣商業會議所副會頭　三重縣商業會議所副會頭

開襟運動講演の要項

戸田正三博士の講演『胸襟を開け』（下）

十二日午後七時より　樺山小學校講堂に於て

蒸發力を　眠ろしない様な暑熱の北方はどうでありませうか今日の指數の程はその數は「ロンドンにあります。ロンドンが暑氣の中心になつてから出來たものが今日都會の象徴でもあります。而して明治維新以來今日まで日本に輸入せられた文明はロンドン文明かパリ文明かなもなければその中間のベルリン文明です。そこで以つてよく考へねばならぬ點は二（英國文明、佛國西文明、獨逸文明の區つた夫々の國の氣候はどうであるかといふ點です。之等の國の氣候は何れも我國内地の六、七、八、九の四ヶ月を除いたら氣候調ふ有狀のそれであります。だから英國では合服などは餘程で年中を厭一枚で通してゐる

ロンドン　の人口八百萬人のうち富豪のやうなグレープシャツや毛織物をつけてゐる者は殆どありません、殆のない國で所なた貴族の品物をよそになつて着用つて立つて居るといふのだから大したもの（寫眞は大作を前にした川端龍子氏）

秋の美術戰展望

「庭木の刈込」を描く川端さん

日本畫の芸壇を向ふに廻して颯然起つた青龍社、今年で四回目になる、其の青龍社の領袖川端龍子氏も帝外大会新井宿、新築に立て籠つて熱心に制作を續けて居る、已に六月から取掛つて居ると云ふが今年の作品は六曲一双に一間半定一古い庭木を清々しく刈込んだ前庭を背景風に据つた大作で、武藏野の色彩と緑の妙味は素晴に細細としてゐる、この外にもう一枚位出品すると云ふ六曲一双は已に完成済み、其の製作力の旺盛なる事は驚くばかりだ、これで青龍の出品は一切バンフレット、特色共に揃ふまでそれ一人で背負つて立つて居ると云ふのだから大したもの

殊に臺灣　では國家をんな理由は成立しない、冬期はロンドンのみなさへリ、然りベルリン然りです、文明人の文明人たる所以は氣候を支配し制御することに在り文明人が寒いといふのは、大自然に從ひつゝ而もこれを支配するからで、これが文明人の本質であります（笹手）人をリードする人間はこの心を持つてゐなければならない

生活材料　の一つである衣服もこの點に從つて製作されねばなりません、この意味からして、職人、商人を日本に輸入したといふことが既に間違つて居ります、年中ドテラで夏十英國人の服をその儘日本人が着の着いのに苦んでゐるといふのは誠に矛盾した話ではありませんか（笹手）

誠に自然　を基調にしてゐるといはれても仕方がありません（笹手）文物、風俗も悉く氣候に從ふ之を支配してゐるところに夫々の特色があるのです、ロンドン、パリ、ベルリン等固のない國我國の様な冬の候――では成程服裝を著るのが自然です、文明國するにも都合がよい、洋服の發達

その積り　で洋服を日本に應用するならばその方法は幾らでもあります、さて眼に遠べき服に遠ふ日本人の著るべき衣服を研究しないものでなければなら、洋服を著て仕事をするといふ點の部分に問題があるのです、洋服を脱げば今迄蒸されてゐた心地が無くなり更に開放されて涼もいれぬ

涼風が胸　間に入つて行く（そのゼスチュアルに笑ふ）この様に我々が最も嬉しい時、樂しい時の一番大切な部分である、開襟の開いてゐる、利服が發明したのも此の點にあります、從來に遠ふもこの原因であるならば我々はその點の程度を研究しなければなりません、之等の點を研究して開襟運動講演を開きたいと思ひます、從來の洋服は四十二、三度にたつても決して死ぬといふことで、冬

如何に寒　くともネタイの中に定れ入れるとも頭から突通れ出ないはないぞう（笑聲）そんな風でもしたら一ぺんで頭がボーツとなつて又暑い時カラーをはめてゐるカラーネクタイのお役だらしなく

居眠りし　てゐる（笑聲）頭を締めるとは非常に悪いことで殊に暑い時に締めるとは非常に悪いことで殊に暑い時に締めるとは非常に悪いことで殊に暑い時に

トロフク（タウファ）両蕃の移住官誓式

七百餘の蕃人たち 颯爽たる盛裝で參列

澤井能高郡守の戒告があつて 頭目、宣誓書に拇印

圓陣を造つて 仲よく交驩式

お互に融和を計り 官命によく從へ

竹下知事、石川課長が訓示

蕃人欣びさんざめく

式典に參列した蕃人は部落に殘つて居られない老人、ベーシン、眉刀、タウファ、トロク、イナゴ等の駐在所に、四日十九名、カノ者四十四名、計六日四十二名、霧社一名、警部補七百八名が、駐在の駒鳴による警に駐在所で即ち、ふさはカラリと晴れて駐在ゆるやかに晴の木々を揺がし、パーラン、眞人、ホウゴウ、マボタウファ、トロク部落附近一帶の山々は綠濃く、厚氷を打つたやうな靜

【埔里電話】十九日正午總督府から特派された大川書記官は、能高郡守澤井能高氏を伴ひ、霧社事件の後始末として、蕃人の移住地たる眉溪流域の視察を終へ、午後一時埔里社分駐所に到着、同所で能高郡守、川村警務課長、能高郡警察課長、木村警部補、能高郡技手、能高郡警部補、埔里社分駐所長、埔里社庄役場吏員、埔里社巡査部長、埔里社巡査等と懇談會を開いた、席上澤井郡守は、

「今回霧社事件の後始末として、蕃人の移住地たる眉溪流域を視察したが、同地は實に風光明媚で、蕃人の移住地として最も適當の地と思ふ、蕃人は從來の住地に於ては、交通不便の爲、物資の缺乏を來し、又衛生上にも缺陷があつたが、今回の移住地は、交通の便も開け、物資の供給も容易であり、衛生上にも缺陷なく

漢文臺灣日日新報

英美不承認滿洲國風說

神戶滙水未曾有恐怖

賣者殆無將破廿三弗

十九日神戶電。英日滙水未曾有低廉。二十三弗五十仙。當地滙水市場。發起買人氣。前場客付。落手對英二十三弗二分一買。二十三弗八分五買。後英美共同。決議不承認滿洲國。之風說流布。因貨信用甚失踪。買手遂唱二十三弗二分一。乃有賣以來恐怖人氣。二十三弗四分一賣。二十三弗八分三買。又先物無賣手。買手唱二十三弗八分一。對英近物一志四片八分一。後寫手皆無。一般商後場政策一十三弗關門也。

時局匡救對策

豫算內示會

十九日東京電。時局匡救策之七年度追加豫算內示會。十九日午後一時。邀貴族院、同三時邀衆議院各派代表。蕃首相官邸。政府首腦首相以下各閣僚、柴田書記官長、堀切、黑田兩大藏大臣、馬場、高田兩局長等。貴族院、德川副議長以下各會代表。衆議院內示會、秋田、植原正副議長各派代表出席。首腦首相說明豫算內容。即入質疑。政府側實貴族院政民兩派諒解。然無情報機關。政府不能臨機應變。欲將內示會知其動向。難究時局對策不徹底之譏。高橋藏相說明。不獨七年度追加案且及於三年計畫金額。政府期待藉此可得諒解云。

學良若不復職

則北華難保治安

將俟會議將發通電

十八日北平電。東北軍各將領。十七日夜再會合。決定張罕學良復職。今明日中、將發通電如左。學良若不復職則北華治安。難以維持。

義勇軍二千進軍

我空軍爆擊之

退却於熱河省境

十八日瀋陽電。第四十八路義勇軍二千、十五日來進軍報到。我錦州飛行隊。十八日朝出動爆擊之。敵因我空軍威力而衰損。退却於熱河省境。

王殿忠軍移動海城

老北風部下入牛莊城

十八日海城電。王殿忠軍。在營口北方牛莊附近匪賊討伐中。軟征隊沿線警戒。十五日已入牛莊。移動於海城方面。老北風部下三百。入牛莊城。同地邦人無一名云。

學良挽留

緩、徐等不參加

十八日北平電。北華五十七團徐之學良、挽留運動。與各方面注意。該運動不見張作相。韓復榘及山西派徐永昌之名。

寺田博士等

在東鐵西部線

消息斷絕

十八日齊々哈爾電。東華綫道西部線遞岡中之寒天留大寺田博士以下施療班十名。在布哈圖。伊勒克特附近消息杜絕。查因水害。不能通信、搜查困難云

松井全權

乘飛機來哈

十八日哈爾賓電。松井軍

臨時閣議種々料想

協議對議會策

十九日東京電。議會開會切迫。政民兩黨貴族院各派間。不諒政府之時局匡政策。對議會策。種々策動政府甚注意其動向。蒐集各方面情報後。乃謀對策。以臨議會。十九日午後。開豫算內示會。果出如何質疑。可知議會大體。二十日臨時閣議。種々料想。課究對議會策。日下情勢。政友會有志代議士會之運動貴族院研究會一部之意見。非偲左右大勢。政府若披瀝誠意。則不必懸念也。

武裝警察八十餘名警戒

舉移住宣誓交歡式

在霧社分室前廣場

十九日霧社特電。霧社事件最後講算。欲將反抗據土地。當與助官討伐之土匪及塔子阿兩蕃社。去十九日午前十時半。假霧社分室前、廣場櫻盛。舉行兩社蕃移住宣誓式。及霧社一帶蕃人交歡式。臨席者有竹下知事。坂口警務部長。伊藤理蕃課長。新美文書課長。督府有警務局長代理。石川理蕃課長。瀨野尾警視。澤井能高郡守其他多數。又霧社分室主任指揮八十三名武裝警察官。發砲式場。先舉土匪及塔子阿兩蕃社。移住宣誓式。次舉各蕃交歡式於社厳裡閉式云。

臺南州聯合

青團大會

廿六日在公園

臺南州下聯合青年團。訂來二十六日午前十時。齊集于公園。揚揚國旗。次圍長今川知事訓辭。又教育勞年八月物　七十三兩一分
一。十月物　七十二兩二分
一。人氣惡化。

大連銀票

突破百圓

十九日大連電。昨年末金禁出禁止以來。銀價上騰當地銀票相場。入今月因滿水崩落。行情大起。本日入忙。上海圓滿水旺。神戶滿水價旺。遂破百圓盛。現物百一圓。先物百一圓二十錢。此昨秋低價已起六十圓。

竹山林內間

橋再流失

竹山郡下竹山與林內間。清水溪中。所架設軌道橋梁。因去二日洪水。被流失以來。至十五日。依完全交通復舊。不意昨十七日。同地一帶。大雨傾盆。遂再被流沒。現仍川竹筏連絡。聞須俟三日間。方能復舊。今回乃本年中。第三次之流失。可歎郡內交通之不便也。

滿洲國承認所關

內田外相基礎案

十九日東京電。政府決定九月中旬。正式承認滿洲國其形式方考究中。據內田外相之主張。締結日滿國交樹立所謂日滿議定書。登錄於聯盟。開由滿洲國承認意志十九日閣議。內田外相。出示該條約私案。右所審議政府正式決定後。欲交於二十日赴任之武藤全權。內田案基礎案如左。

一、滿洲國於同國領域。確認日本政府所有條約及事實上一切權益。

一、對於滿洲國治安內外之脅威。認爲日滿兩國共同問題。兩國共同國滿洲治安維持。

一、日本國。滿洲國。爲維持共同平和。若受第三國侵略。則以防守同盟當之。

花蓮城隍祭

發生事故三件

街內甚混雜

花蓮港街。去十七日。依例祭迎城隍繞境。各地方觀客甚多。街內甚混雜。是晚六時起二時間。突然發生盜難。及傷害事件如左

▲稻住人。田元。年二十四。是晚七時頃。在稻住路上。觀祭典。行列中更與酒樓酌婦阿吻談話中。逢與無賴漢發生口角。然已無效。千六郡警察課接報。有益田部長偕阪本。三名兩巡查及中川公醫赴現場檢屍。然後命其家人領回埋葬。

▲編住人。劉金財。年二十五。稻住人。林德水。年三十四名。因懸討金錢關係。發起爭論。劉取出菜刀。傷林頭部及右上膊部二處。昏倒于地。加害者由現場脫走。至翌十八日午前一時。被當局擒住。是晚八時頃。被米商人。潘阿元。年四十四。竊去布疋數疋逃走。被村上洋品店之員發見捕住。送交當局究辦云。

賣妻之款

被友橫領

向北署告訴

新竹州竹東郡竹東庄上坪人彭某。年四十。本年七月下旬來北。宿在市內建成町蔣南第。忽遇同庄人柯某之妻柯陳氏萬妹。年二十。在同舘爲女中。即其事情。始知受本夫虐待欲離緣。而無聘金可還。彭乃往說柯。至八月十旬柯許爲代償。爲是彭來。得市內蓬萊町人黎某爲媒。八月十日。議定聘金二百七十圓。實與許某。彭逢橫領該金。往市內日新町廉貨店。互二夜間。全部

嘉市賭案

關係男女廿名

各以處罰金

嘉義市廬厝人吳萬泉之家去七月十四日起。至同二十日。夜以繼日。連續聚賭達投。被該警派出所查知。報告于警察署。左記關係男女二十名。十八日由鈴木司法主任召喚訊查。各處以罰金解決。

廬厝前科一犯侯七年三九。罰金四十圓。同所吳江氏素年三十。罰金二十圓。同所前科二犯林氏龍妹年四一。罰金四十圓。檜町前科四犯施廬氏秀年四四。罰金六十圓。同所前科二犯施大清年二六。罰金三十圓。廬厝王氏英年二九。罰金二十五圓。同所劉庚樹年三二。罰金二十五圓。檜町沈張氏番年三六。罰金二十圓。同所前科三犯黃氏謀年三六。罰金六十圓。同所林陳氏水英年三一。罰金二